



研修・イベントレポート

アドバンスコース2年生中国実習 ～中国の文化に触れて～

鍼灸学科 30期夜間部(チューター) 峯美代子

昨年11月22日～12月4日、鍼灸学科アドバンスコース2年生・教職員約36人は中国・天津で中国医学実習を行いました。実習先は天津中医药大学、天津中医药大学第一附属病院の2施設で、共に年に何回も日本からの実習生を受け入れるなどとも日本との交流に熱心な学校です。本校卒業生で中国に留学中の斉藤大さんはじめ通訳してくれた現地の学生さん等、たくさんの方々にご協力いただいたお蔭で、とても充実した実習となりました。ここでは特に印象に残ったことを記します。

附属病院は毎日5千人以上の患者さんが来院し、入院患者も1300人以上、そのほとんどが鍼と漢方中心の治療と、正直日本での鍼灸の扱われ方との違いにカルチャーショックを受けました。

病院実習では実際に先生の鍼治療を見学し、片手で鍼管なしでサクサク刺していく打ち方、また患者さんの鍼に対する恐怖心がほとんど見られない様子に驚かされました。先生によると日本人は敏感で、すぐドーゼオーバーになることが多いとのことでした。



講義では、醒腦開竅法、子午流注等日本ではなかなか聴けないものを聴き、また多くの質問に対して丁寧に答えていただきました。

実習の合間や実習を終えて帰国前には万里の長城や下町の屋台、また現地の人と友達になったり有意義な時間を過ごしました。もともと、今回は慣れない気候や環境から体調を崩す学生もあるなど問題がなかったわけではありません。やはり同じアジアとはいえ外国です。日本と同じ感覚で思わず、気を引き締めて体調に気を配る必要があります。そうして一回りも二回りも自分を大きくする機会となること間違いなしです。

2006年文化祭『ふくびき祭2006』

鍼灸学科 アドバンスコース3年生 嵯峨山綾子(学生会)

去る平成18年11月3日、爽やかな秋晴れの下、本校恒例の文化祭『ふくびき祭』が開催されました。『ふくびき祭』とは、柔道整復のふくと鍼のひびきの言葉を合わせて今年新たに命名したものです。

今年も昨年同様、全校生徒数900人という規模での開催となり当日は本校舎とアネックス校舎にて各クラス、クラブから様々な模擬店やイベントが催されました。

本校舎では、ヨーヨーやお面の屋台があり、景品を当てようと夢中になっているたくさんの子供の姿が見られました。他にもゴルフやフリーマーケット、そして古典研究会による恒例の軟膏が人気を集めました。又、附属診療所では、今年発足したばかりのスキンタッチ同好会によって、母と子を対象としたスキンタッチ講習会が開かれ、より多くの人に小児鍼等について知っていただく事ができたように思います。

アネックス校舎では各クラスの模擬店がズラリと並び、クラスで協力し合い準備に調理に忙しんでいる学生さん達の姿が印象的でした。ステーキ、た

こ焼き、焼き鳥…と、どれも味にこだわった美味しいでき上がりとなり、売切れ続出で大勢のお腹を満たしていました。中でも鍼灸学科と柔道整復学科の先生方によるおはぎと焼きそばは、今年も行列ができる模擬店となっていました。

文化祭のラストを飾るイベントとして漫オコンビ『なすなかにし』による漫才とトークショーがあり、間近で繰り広げられる笑いの渦に皆どどん引き込まれていました。短時間のライブでしたが大盛況に終わり、無事に『ふくびき祭』の幕を下ろす事ができました。

最後になりましたが、文化祭開催にあたり、お忙しいなか各クラス・クラブの実行委員としてご尽力くださった皆さんをはじめ、協力してくださった全ての方々に深く感謝いたします。



校友会四国地区交流会開催 ～うどんに舌鼓～

鍼灸学科 31期アドバンスコース 谷口元司



平成18年9月23日(土)・24日(日)の両日、香川で四国地区交流会が行われました。この企画は、校友会役員・学校教職員と、各地域の校友会会員の皆さんとの交流を深めようということとで今年度よりスタートしたものです。

記念すべき第1回は、校友会副会長米沢豊彦先生(鍼灸学科・7期)のおられる四国地区での開催となりました。参加メンバーは浜田暁先生、尾崎朋文先生、奥田功先生、築山房乃先生、下條喜信先生、北村知子さん他、計11名。大阪駅から直行バスで一路香川を目指しました。

懇親会会場はさぬき市の『源内』。四国へ来たらやっぱりうどん。夕食はうどんすきをたらふくいただきました。その後、ほとんどの人が二次会へとだれだれ込み、文字通り"交流"会の楽しいひと時を過ごしました。

翌日は朝8時集合で、うどん屋の『宮武』へ。早朝であるにもかかわらず

長蛇の列で、各地から大勢のうどん好きが集まっているのがよくわかりました。食後は腹ごなしも兼ね、金刀比羅山へ登り、下山して再びうどん!実は、2日目は3軒のうどん屋を回る予定でしたが、食べ慣れない私達は結局2軒でお腹をいっぱいにしてしまい、3軒目は行けずじまいでした。

という具合に、今回の交流会はうどんを堪能できた2日間でした。んっ? もちろんしっかりと本来の目的、親睦も深めて参りましたよ。うどんのような太くて長いお付き合いができればよいと思っています。

